

さわやかな春とみのりの秋を待ち遠しく思う期間ばかりが長く、春秋が到来するとあつという間に過ぎてしまう、それが日本の春夏秋冬です。待ち遠しい秋がやってきました。

最近、病院では（医療費の削減のため）早期退院が当たり前になり、明らかに在宅に力点が移りました。一方、在宅では高齢者の独居世帯、夫婦二人暮らしが増え、要介護になると在宅で暮らすことが難しくなっています。これらの明らかに相反する二つの現象は、その狭間にある「退院」という場所で右往左往しています。その解決策となるキーワードが「連携」ですが、根本的な問題は残ります。そもそも、自宅で暮らせなくなる人は確かに存在し、圧倒的に行き場が足りなくなっているのです。

今回の特集テーマは「在宅理学療法の可能性を考える」です。前述したように理学療法の拠点は病院から在宅に大きく緩やかに移行し、在宅での可能性が広がり、理学療法士にとってはチャンスとも言える大切な時期かもしれません。そこで、あらためて地域理学療法について再考することになりました。特集のはじめにお書きいただいた平原佐斗司先生は、筆者が在宅総合ケアセンターの開業準備に就いていたころ、当院で在宅終末期の講習会にお招きした先生で、静かな口調で終末期の考え方をわかりやすく話してくださった方です。現在、在宅診療の最前線で、診療に加え講演、執筆などでご活躍されています。平原論文は、医師という枠を超え、私たちが在宅でどう考えていけばよいかを紐解くものです。全文を読み、在宅という職場の魂を感じていただければと思います。相島論文は、脳血管疾患について病院での経験ばかりでなく、さまざまな研究からの根拠ある理学療法について、在宅初心者が戸惑わないよう解説されています。治らない患者でも悪化を防ぐための理学療法の必要性は在宅理学療法の可能性そのものです。また、竹村論文では、本邦ではまだまだ不足し、大いなる可能性を秘めた分野である在宅での呼吸器・心大血管疾患理学療法について、わかりやすくまとめたいただきました。藤本論文では、理学療法士が得意とする運動器疾患の在宅理学療法について、治療とは異なった視点から解説いただきました。すべての論文に共通するのは、医療から在宅へのシームレスな連携です。将来、医療から在宅へのシフトが進めば、現在医療で行っていた治療を在宅で行うことも視野に入れていかなければなりません。可能性は広がるばかりです。

座談会の収録日は、全国でご活躍されている先生方に遠方からお集まりいただき、本当に有意義なお話ができ、久しぶりに嬉しく、楽しい気分が帰路につきました。ぜひ読んでいただき、これからの在宅理学療法の可能性について一緒に考えていただきたいと思います。（金谷さとみ）

理学療法ジャーナル

（第47巻 第9号）

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

2013年9月15日発行（毎月1回15日発行）

定価 1,890 円（本体 1,800 円＋税 5%）

〔2013 年 年間購読料（税込、送料弊社負担）〕
冊子版 20,880 円、冊子＋電子版/個人 23,880 円、冊子＋電子版/共有 27,200 円、電子版/個人 20,880 円、電子版/共有 24,100 円、冊子版/学生割引 16,680 円、冊子＋電子版/学生割引 19,680 円、電子版/学生割引 16,680 円

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03)3817-5704

（担当：前野・川上・三由・山崎）

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

E-mail : ptj@igaku-shoin. co. jp

Web <http://www.igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/>

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は(株)医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** <（社）出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

●編集顧問●

安藤 徳彦
上田 敏
大川 弥生
高橋 正明
奈良 良典
福屋 靖子

（五十音順、以下同じ）

●編集委員●

網本 和
内山 靖
金谷 さとみ
斉藤 秀之
高橋 哲也
鶴見 隆正
永富 史子
福井 勉
横田 一彦
吉尾 雅春

●編集同人●

伊藤 俊一
伊藤 義広
稲員 恵美
伊橋 光二
上田 陽之
大場 みゆき
大峯 三郎
岡西 哲夫
沖田 実樹
小塚 直隆
日下 隆一
工藤 俊輔
河野 礼治
酒井 桂太
佐藤 秀一
関屋 昇
富樫 誠二
富田 昌夫
長澤 弘
長野 由紀江
中村 春基
濱出 茂治
濱酒 伸彦
深浦 順一
福田 恵美子
二木 淑子
星 文彦
前田 哲男
牧田 光代
丸田 和夫
丸山 仁司
諸橋 勇
山田 英司
横山 有里